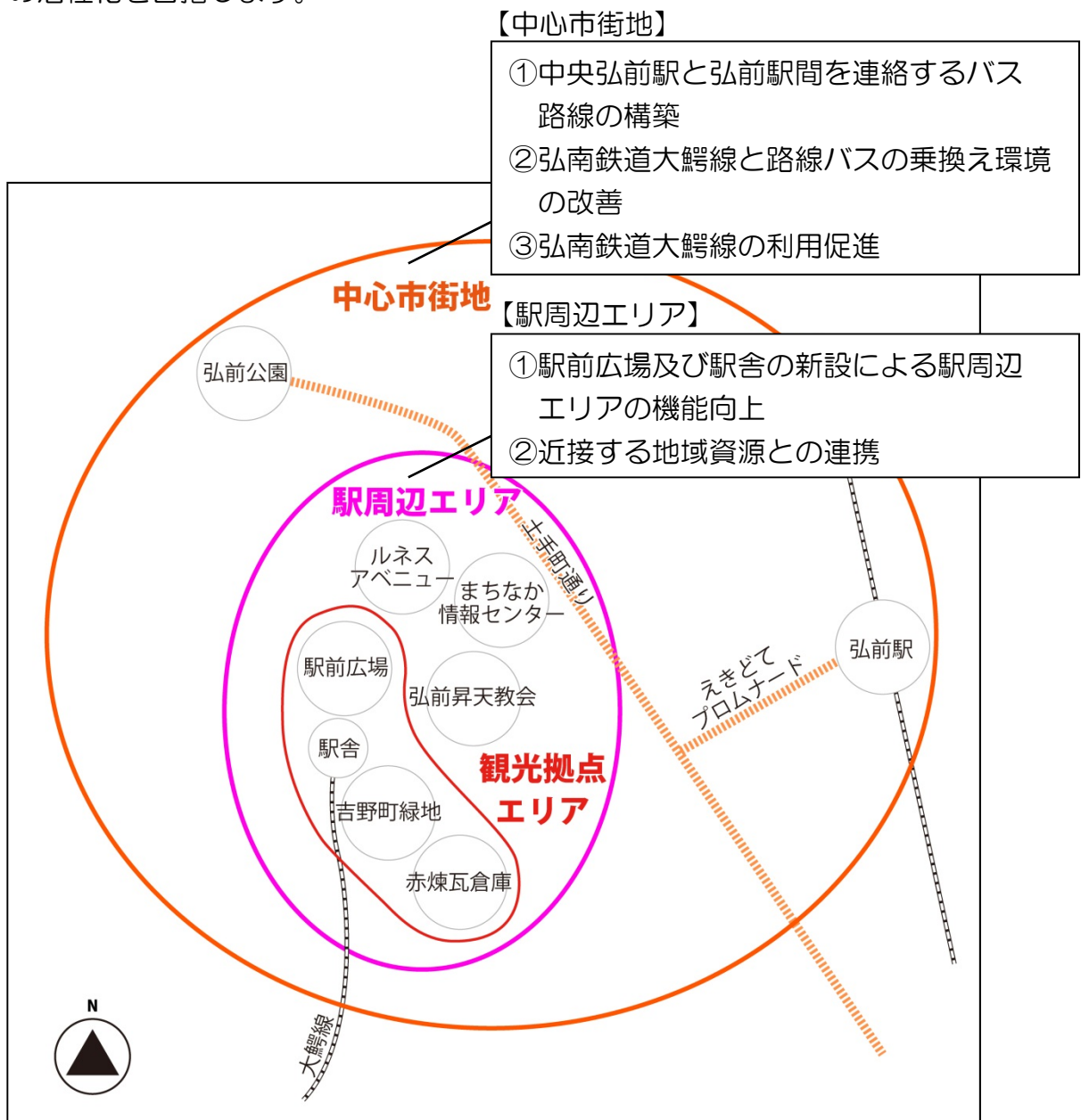


## 6. 中心市街地及び近接する地域資源との連携

本章では、整備方針2「近接する特徴的な資源と連携した新たな賑わい交流拠点」及び整備方針3「周辺へのアクセスがしやすい市街地ネットワークの拠点」を基に、中心市街地及び駅周辺エリア内の地域資源と新設する駅前広場及び駅舎との連携手法について示します。

具体的には、中心市街地との連携においては、「中央弘前駅と弘前駅間を連絡するバス路線の構築」「弘南鉄道大鰐線と路線バスの乗換え環境の改善」「弘南鉄道大鰐線の利用促進」、駅周辺エリア内の地域資源との連携においては「駅前広場及び駅舎の新設による駅周辺エリアの機能向上」「近接する地域資源との連携」を図ることにより、駅前広場及び駅舎整備に合わせた駅周辺エリア全体の魅力向上と中心市街地の活性化を目指します。



## 6.1. 中心市街地との連携

中心市街地との連携手法として、「中央弘前駅と弘前駅間を連絡するバス路線の構築」「弘南鉄道大鰐線と路線バスの乗換え環境の改善」「弘南鉄道大鰐線の利用促進」について以下のとおり検討していきます。

### ①中央弘前駅と弘前駅間を連絡するバス路線の構築

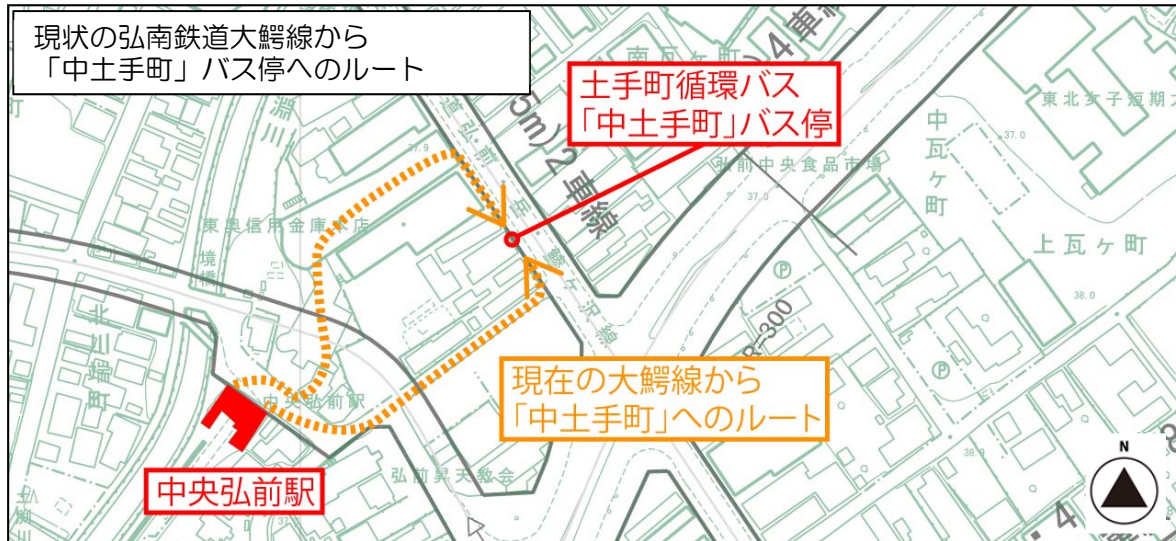
中央弘前駅と弘前駅間を連絡するバス路線を構築することで、中心市街地の回遊性を高めます。また、中央弘前駅と弘前駅間を連絡するバス路線の構築により、弘南鉄道大鰐線と JR 奥羽本線及び弘南鉄道弘南線との円滑な乗換えを実現し、周辺市町村間、及び市内の中心市街地と郊外間の移動環境の向上を図ります。



出典：ひろさき公共交通マップ

## ②弘南鉄道大鰐線と路線バスの乗換え環境の改善

現状では中央弘前駅から最寄のバス停である土手町循環バスの「中土手町」バス停までは約200m離れており、また駅からバス停までの経路が分かりにくいいため、乗換えの利便性や快適性が低下しています。中央弘前駅を經由するバス路線の構築及びバスの乗入れが可能な駅前広場の整備により、弘南鉄道大鰐線と路線バスとの円滑な乗換えを実現します。



# 土手町循環バス

4月～11月 10:00～18:00  
12月～3月 10:00～17:00

10分間隔で運行

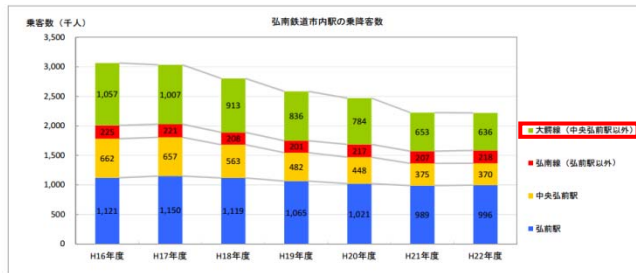
①バスターミナル ▶ ②弘前駅前 ▶ ③大町一丁目 ▶ ④大町二丁目 ▶ ⑤上土手町 ▶ ⑥市立病院前 ▶ ⑦土手町十文字 ▶ ⑧青銀土手町支店 ▶ ⑨中土手町 ▶ ⑩遠菜橋 ▶ ⑪下土手町 ▶ ⑫本町 ▶ ⑬大学病院前 ▶ ⑭市役所前 ▶ ⑮陸奥新報前 ▶ ⑯文化センター前 ▶ ⑰ホテルニューキャッセル前 ▶ ⑱徒町 ▶ ⑲中央通り二丁目 ▶ ⑳並木通りバスターミナル前 ▶ ㉑ヒロロ前 ▶ ㉒弘前駅前 ▶ ①バスターミナル (降車専用)

出典：ひろさき公共交通マップ

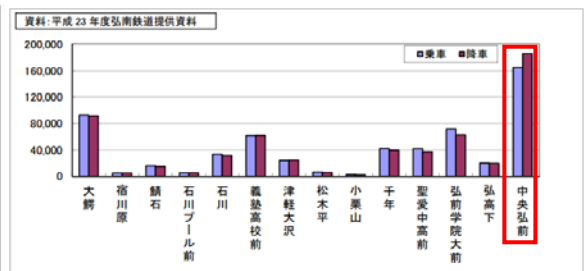
### ③弘南鉄道大鰐線の利用促進

弘南鉄道大鰐線の乗降客数は、年々減少傾向にあり、現在弘南鉄道大鰐線の利用促進を目指す取組が検討されています。本計画においては、弘南鉄道大鰐線の終着駅で乗降客が多い中央弘前駅の特徴を生かし、弘南鉄道大鰐線と連携した市民による大鰐線応援隊（サポーターズクラブ）によるイベントの開催、展示により、弘南鉄道大鰐線の利用促進を目指します。

弘南鉄道市内駅の年間乗降客数



弘南鉄道の駅別年間乗降客数



出典：弘前圏域地域公共交通計画/平成 25 年 3 月

#### 【弘南鉄道大鰐線と連携した例】

##### 弘南鉄道沿線の駅と連携したイベントの開催

弘南鉄道大鰐線の沿線駅で行われるイベントに合わせ、イベント広場においてもイベントを開催し、沿線のイベントと連携した集客を図ることで、弘南鉄道大鰐線の利用を促進します。

##### ○沿線のイベントのサテライト会場

沿線のイベントの一部を、イベント広場において実施することで、中心市街地を訪れた来訪者や市民に対し、沿線で行われているイベントを宣伝します。

沿線で行われているイベントに関心を持つきっかけをつくることで、弘南鉄道大鰐線の利用を促進します。

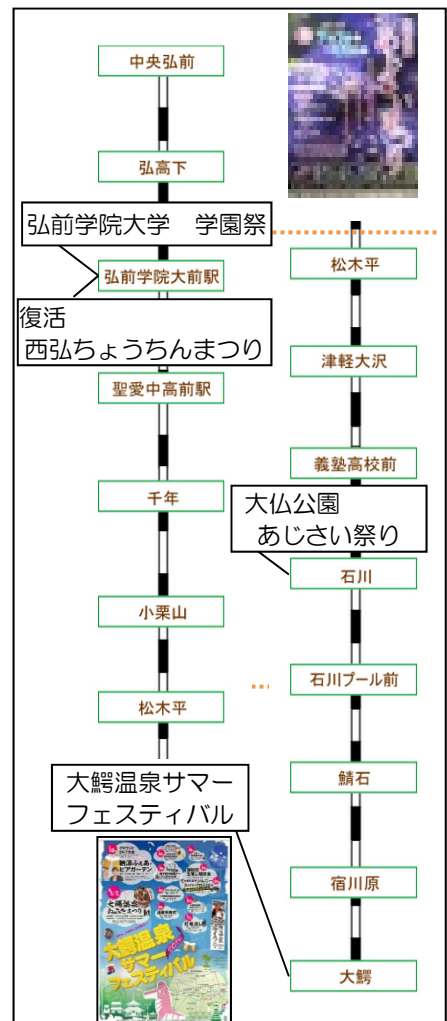
##### ○日中のイベントに合わせた夜のビアガーデン

弘南鉄道大鰐線沿線の日中のイベントに合わせて、イベント広場において、屋外を活用した夜のビアガーデンを開催し、沿線のイベントへの来訪者を中央弘前駅に誘導します。



ビアガーデン

##### 沿線のイベント(抜粋)



## 弘南鉄道大鰐線を眺められる場の設置

弘南鉄道の特徴的な車両デザインや鉄道に接する緑地の立地を生かし、弘南鉄道大鰐線を眺めながら憩い・集える場の整備を行うことで、弘南鉄道大鰐線のPR及び集客を行います。弘南鉄道大鰐線を眺めながら憩い・集える場としては、デッキ・ベンチの整備、カフェとしての整備等が考えられます。



弘南鉄道大鰐線の写真…出典：弘南鉄道ホームページ

### 【大鰐線応援隊（サポーターズクラブ）設立による大鰐線利用促進を考えた例】

市民による大鰐線応援隊（サポーターズクラブ）の盛り上げりを支援し、各駅の特徴を生かした利活用方法により集客を図ります。

利活用の例としては、地元農産物の車内販売、駅周辺の環境整備（花壇、清掃）、沿線駅で行われるイベントと連携することで、大鰐線全体の利用促進を図ります。

## 6.2. 駅周辺エリアにおける取組

新設する駅舎及び駅前広場において、中央弘前駅に近接する地域資源が持っていない機能を付加することで、駅周辺エリアの機能を高めます。また、それぞれ性質が異なるエリア内地域資源の連携により、駅周辺エリアの魅力向上を図ります。

### ① 駅前広場及び駅舎の新設による駅周辺エリアの機能向上

吉野町緑地、赤煉瓦倉庫、弘前昇天教会及びまちなか情報センターは、駅周辺エリア内の地域資源であり、駅舎及び駅前広場の新設にあたっては、近接する地域資源が持っていない機能を付加することで、駅周辺エリアの魅力向上を図ります。

近接する地域資源が現状で持っている機能を整理し、吉野町緑地を「交流機能」、弘前昇天教会及び赤煉瓦倉庫を「文化・交流機能」、まちなか情報センターを「情報発信機能」と位置づけました。

#### ○吉野町緑地：

来訪者が、憩い滞在することができる場。→**交流機能**

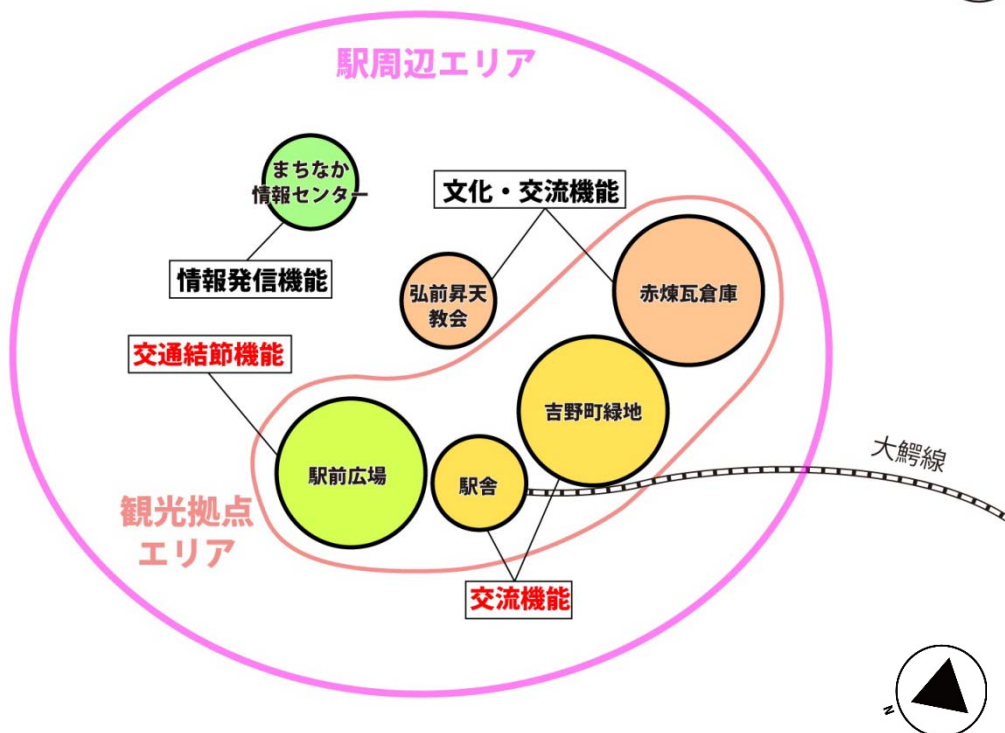
#### ○赤煉瓦倉庫・弘前昇天教会：

弘前の歴史・文化に触れる体験を提供する場。→**文化・交流機能**

#### ○まちなか情報センター：

弘前観光に関する情報を発信し、地域内の観光を促進する場。→**情報発信機能**

そして、新たに新設する駅前広場については、バス路線及び送迎車と弘南鉄道大鰐線との円滑な乗換えを実現する場として「**交通結節機能**」、駅舎については、吉野町緑地と一体となり、屋内・屋外において来訪者が憩い滞在できる場を創出することで、吉野町緑地の「**交流機能**」を補完する場とします。



②近接する地域資源との連携

駅周辺エリア内の性質の異なる地域資源の連携により、より魅力的な駅周辺エリアを形成します。また、駅周辺の整備、運営、維持管理などについて、一体的かつ一元的なマネジメントを行う団体の活用についても今後検討を進めます。

○文化のみち

歴史的価値を持つ弘前昇天教会と地域の生活の場となっている土手町通りを文化のみちにより結ぶことで、複合的な観光資源を創出し、来訪者に様々な体験を提供します。

取組例)

- ・案内板の設置
- ・道路占用・使用による道路空間の活用(ライトアップイベント等)
- ・道路交差点における休憩所(ベンチ等)の設置
- ・駅前広場からの連続した舗装の整備 等



○水辺のみち

水辺に近接する土淵川沿いの遊歩道を活用することで、土手町通り方面との回遊性を高めます。

取組例)

- ・土淵川を眺める視点場の整備、景観整備 等

【土淵川】

土淵川は、中心市街地を南北に流れる河川であり、徒橋下流 1,060m 区間では、親水空間の整備が行われ、定期的な清掃活動や地元団体によるボランティア活動等により、良好な環境が保たれ市民に親しまれています。しかし、土手町商店街より上流区間については、親水空間としての整備が行われておらず、住民や観光客が川に親しめるような状況ではなかったことから、徒橋から黄昏橋区間において、「土淵川環境整備連携事業」による遊歩道の整備が行われました。



○賑わいのみち

歩車分離された都市計画道路の整備や案内誘導の充実により、鍛冶町地区などの繁華街方面との回遊性の向上を図ります。

取組例)

- ・案内サインの設置 等

○交流のみち

地域の情報発信及び交流拠点となっているまちなか情報センターと連携し、情報発信や案内誘導についてさらに強化を図ります。

【まちなか情報センター】

まちなか情報センターは、市民や観光客に、各種地域情報や交流・休憩の場を提供し、サテライトスタジオやりんごグッズの販売・軽飲食、インターネットなどを利用することができます。



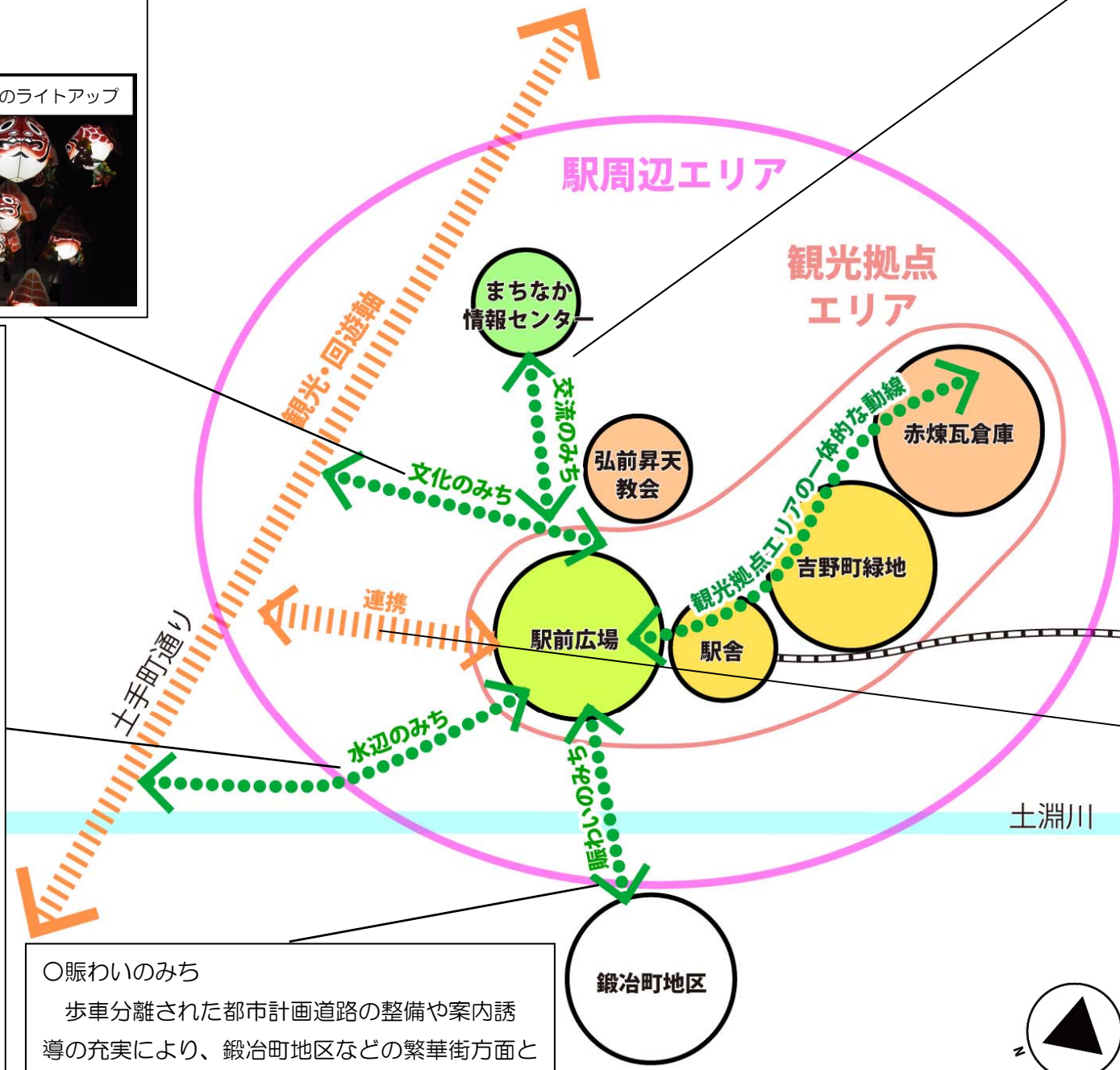
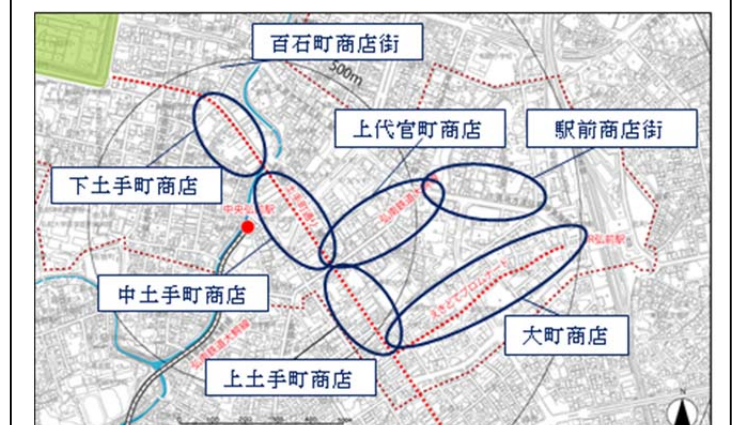
○商店街と連携したイベントの開催

商店街と連携したイベントの開催等により、駅周辺におけるにぎわいを創出します。

取組例)

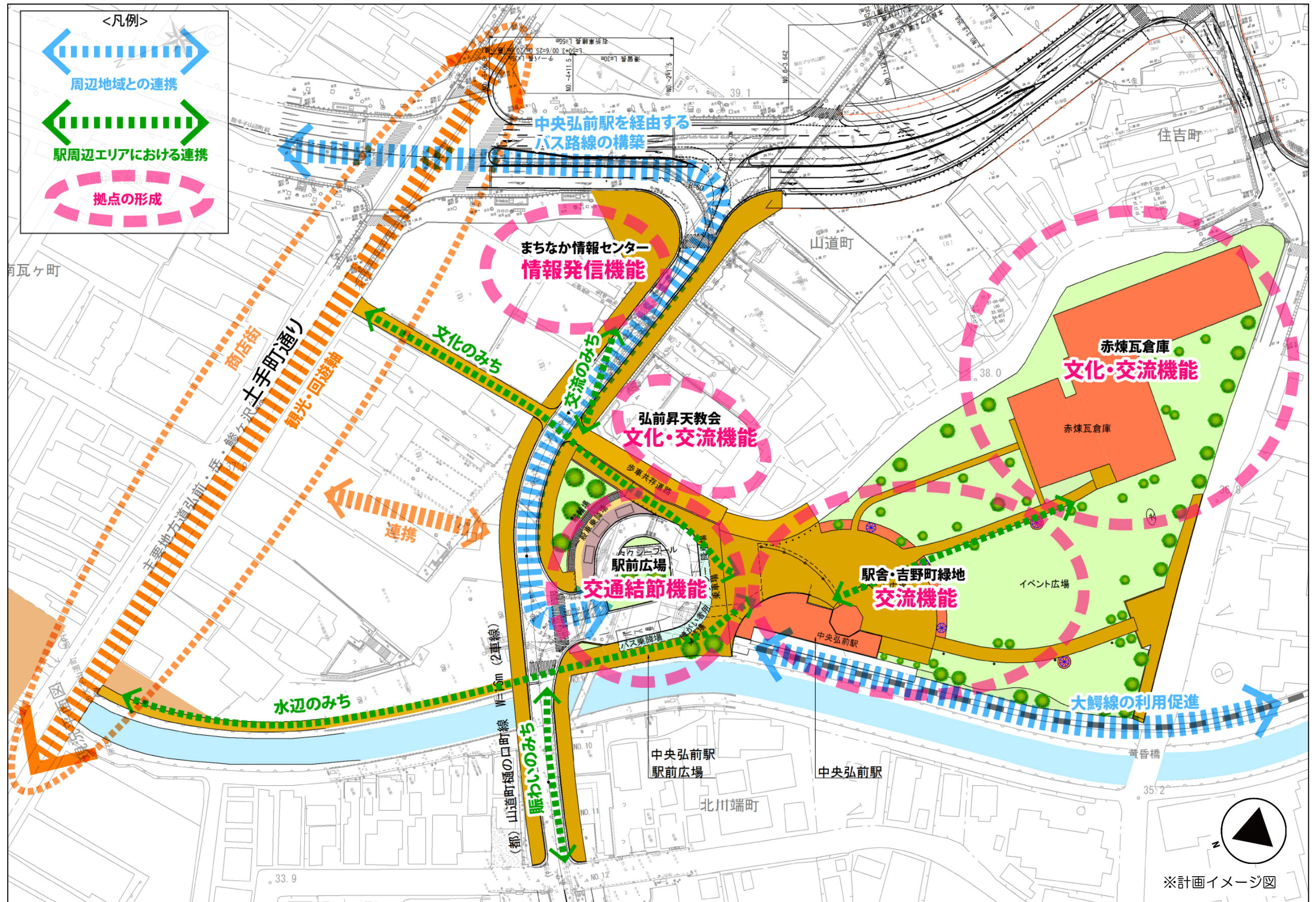
- ・イベント広場における商店街主催の物産市の開催
- ・中央弘前駅における商店街マップの配布 等

【中心市街地の商店街】



### 6.3. 周辺地域及び駅周辺エリアとの連携図

周辺地域及び駅周辺エリアとの連携について、下図に示します。





弘南鉄道大鰐線中央弘前駅前広場周辺利活用計画

発行：平成27年7月

弘前市（都市環境部都市政策課）

〒036-8551 弘前市大字上白銀町 1-1

TEL 0172-35-1134/FAX 0172-35-3765

E-mail [toshiseisaku@city.hirosaki.lg.jp](mailto:toshiseisaku@city.hirosaki.lg.jp)

URL <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>